

道徳の時間で活用する ～向上心、個性の伸長～

下関市立彦島中学校 町田 政也

1 本場面におけるポイント

- 自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。
- 時代劇とその脇役、福本清三さんの生き方について、副読本と動画で知る。
- 自分の個性を生かして、より良く生きるためには、どのような心構えが必要かを考える。

2 授業の実際

1 主題名 向上心、個性の伸長

「資料名 五万回斬られた男（出展：正進社キラリ☆道徳3）」

2 ねらい

自己を見つめ、自己の向上を図るとともに、個性を伸ばして充実した生き方を追求する。

3 展開

(1) 導入 時代劇について知っていることを生徒に聞く。

教師：時代劇について何か知っていることや、番組はありますか。

生徒：（水戸黄門や暴れん坊将軍などの番組名が複数の生徒から出る。）

（「脇役」についての知っていることや意見は、ほぼ出ない。）

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「時代劇」についてはイメージが湧く生徒も多かったが、福本清三さんについては知らない生徒が多かったため、過去のテレビ番組の動画を見せ、長年脇役一筋で生きてきた福本さんの様子を伝えた。



(2) 展開 福本さんは、ハリウッド映画にも出演した大俳優なのに、テロップにも流れない無名の俳優でいたのはなぜか。個人で考えた後、班活動で話し合い、一つに意見にまとめ、班の代表が前に出て発表する。

教師：福本さんは、なぜ無名の役者であり続けたのか、個人と班で考え、班の意見はホワイトボードに書いて、黒板に貼りましょう。

生徒A：どんなに名前が売れても、「斬られ役」という仕事に「誇り」を感じていたのではないかと？



生徒B：「好きなことを貫く。」という生き方を感じた。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

個人の意見をもちにくい生徒については、机間指導の中で、「福本さんの生き方について、あなたはどう思うか感想を書きましょう。」というアドバイスを与えた。

また、班の意見が一つにまとまりにくい場合は、複数の意見をホワイトボードに記入してもよいということを伝えた。

(3) 終末

「私たちの道徳」P40「あなたらしさがあなたの良さになる」を読んで、P41「自分の中にある『良い所』『改めたい所』」を考える。また、ワークシートに「自分の個性を生かしてよりよく生きるためには、どのような心構えが必要か。」を考えて書く。

教師：「私たちの道徳」40ページを開いて読みましょう。また、41ページの自分の中にある「良いところ」「改めたいところ」について考えましょう。

また、ワークシートに、「自分の個性を生かしてよりよく生きるためには、どのような心構えが必要か。」を考えて書きましょう。

生徒C：自分の「良いところ」はなかなか見えなかったけど、「改めたいところ」は見えてきた。

生徒D：好きなことを続けることが自分の個性を生かすことにはなるけど、そこにはきっとたくさんの苦労もあるんだろうなということが分かってきた。

□ 指導上の留意点・支援・「私たちの道徳」活用のポイント等

「私たちの道徳」P38からの(5)「自分を見つめ個性を伸ばす」の単元を活用したが、どのページをどのように活用するかは、授業者の方針等で変わってくると感じた。今回は記入させるページを選ぶことで、生徒が自分自身を振り返ることを重視した。



3 実践を振り返って



「時代劇」「福本清三」という、ほとんどの生徒には馴染みの薄い教材を、どのように生徒に染み渡らせるかで苦労した。結果として動画の紹介により、生徒の心にもよく響いたように感じた。

「私たちの道徳」の活用については、生徒が自分自身のことを振り返り、自分のめざす将来像を描く一つの方法として有効であったと感じている。